

弟子屈町屈斜路コタンアイヌ民族資料館

屈斜路湖の南岸にあるこの小さな資料館は、北日本の先住民であるアイヌを主題としています。アイヌの文化と伝統、およびアイヌが暮らしてきたこの土地の歴史に関する展示物と工芸品を幅広く所蔵しています。

屈斜路コタンアイヌ民族資料館は、「コタン」と呼ばれるアイヌの村がかつてあった場所に位置しています。展示では、アイヌの伝統的な暮らし方が詳しく述べられています。アイヌは、狩猟・採集・釣りをを行い、自然環境の中で暮らしていました。この資料館は、地域の自然史や人類史から、アイヌの道具・衣服・食料・宗教まで、幅広い主題を取り扱っています。英語でも説明されている展示品もあります。

資料館を訪れる人は、アイヌの歴史に関する 25 分間のビデオを見ることができます（英語可）。このビデオは、明治時代（1868～1912 年）にアイヌ民族が被った差別、アイヌ文化を守るためにその後制定された法律、およびアイヌの伝統を継承しようとする現在の努力を描いています。このビデオでは、歌、踊り、祭り、言語教育を通して文化を活かし続けているアイヌの諸団体が取り上げられています。